

動労千葉弁護団総会ひらかれる

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎!

動労本部の告訴路線粉碎し、公判闘争勝利へ

8月21日、千葉市パレスホテルにおいて動労千葉弁護団総会が開催された。今回の総会の目的は、動労本部の「6.12事件」デッチあげ告訴による六名の仲間への逮捕、三名への不当起訴を粉碎すべく強力な弁護団を結成するものとして行われたものである。総会は、中野書記長より

動労千葉をめぐる情勢が報告され、葉山菅野両弁護士から、この向の反弾圧闘争の総括と今後の取り組みがそれぞれ報告された。

弁護団は、動労千葉三〇〇〇組合員と共に、動労本部「反動分子」による動労千葉組織破壊攻撃に告訴路線粉碎、三名の仲間への無罪獲得に全力をあげて取り組むことを確認して、成功裡に閉会した。

この闘いを通じて、一層の組織強化かちとる

西森法対部長からの弁護団へのこの向の反弾圧闘争に対する献身的な救援弁護活動への謝辞をかねた司会者挨拶によって総会は進められた。

情勢報告で、中野書記長は、「動労本部」による「6.12事件」デッチあげ告訴と、それをテコにした権力の弾圧攻撃は、六名の完黙非転向の獄中闘争と、それを包む津田沼支部を先頭とした三〇〇組合員の総決起行動により勝利的に展開された。特に、

この弾圧を契機に津田沼支部より一層強化されたことは一大成果である。

(一) 国鉄当局は、不当起訴された三名の解雇を、動労本部の処分要請を利用して策動している。これは、当局の80年代労務政策として従来までのやり方を一変させる攻撃で

階級的警戒心をもって対峙せよ

葉山弁護士は、冒頭「今回の反弾圧闘争に限りない力を發揮した動労千葉に感銘をうけた」と述べ、その矛は、今回の弾圧は動労千葉破壊を唯一狙ったものであり、これを六名の完黙非転向の叩きをもつて見事にはねかえした。矛二に、全組合員の強力な支援体制と連日の奮闘は素晴らしいものであった。

今回の動労本部によるタレコミ告訴は、動労本部「反動分子」が警察労働運動に転落した何よりもの証左であり正義と不正義の明白な区分けができた。今後とも階級的警戒心をもって対峙していこう。と提起さ

ある。その表れが三名への解雇策動であり、津田沼電車区を「特定職場」に指定し本社直轄下において労務支配を強化せんとする攻撃である。動労千葉は、80年代に勝利する訓練としてつけとめ、当局の「反動分子」の叩きを通して組織強化をかちとる。と述べた。

菅野弁護士からは、17日間の完黙獄中闘争と組合全体としての取り組みによる叩きは今後の反弾圧闘争の大きな成果として引き継いで欲しい。弁護団にとって二年前結成以来初の刑事弾圧にかちきったことは成果であった。今後は強力な弁護団を編成して三名の無罪獲得へむけて取り組む。と提起された。

こうして総会は、当面の課題を動労本部「反動分子」による告訴路線粉碎、三名の無罪獲得に定めて取り組みを強化することを確認し成功裡のうちに終了した。

銚子地区労に正式加盟

銚子地区労は、8月21日、銚子市市民会館ホールにおいて第四回幹事会を開催した。この幹事会に、動労千葉銚子支部より宮崎支部執行委員長はじめ三役が参加し、銚子支部結成に至る経過について説明し、地区労

加盟をもって共に叩いぬく決意を表明した。幹事会は、この動労千葉銚子支部よりの加盟申請と報告をうけ討論の上、県労連傘下で叩く銚子地区の国鉄労働者を代表する唯一の正式代表として地区労加盟を満場一致決定した。